

アスファルト舗装技術に関する講習会

愛知県アスファルト合材協会 (一社)日本道路建設業協会中部支部

愛知県アスファルト合材協会(川中喜雄会長)と(一社)日本道路建設業協会中部支部(青野俊弘支部長)は7月8日、名古屋市中区のホテル名古屋ガーデンパレスで『平成27年度アスファルト舗装技術に関する講習会』を開催し、会員企業から160人が参加、4時間にわたり最新のアスファルト舗装技術を学びました。

冒頭、アスファルト合材協会技術管理委員会の難波陽一担当理事は「進化する材料や技術を習得し、現場でプロとして活躍してほしい。技術者不足で建設ICTの取り組みが進んでいるが、現場の基本は技術者が担っている。学んだ知識を今後の仕事に役立ててもらいたい」と呼びかけられ、この後の講習では4人の講師が下記内容の講習を行いました。

■講師 国土交通省中部地方整備局 道路部
道路管理課長補佐 浅井 洋二 様
『道路をめぐる最近の話題』

■講師 (一社)日本道路建設業協会 中部支部
企画調査課長 伊藤 政夫 様
『アスファルト混合物事前審査制度について』

■講師 鹿島道路株式会社 中部支店
工事部担当部長 水野 涉 様
『鋼床版上の舗装について』

■講師 東亜道路工業株式会社 中部支社
技術部長 杉浦 裕之 様
『アスファルト舗装の技術動向』

最後に質疑応答が行われ、閉会挨拶を(一社)日本道路建設業協会中部支部 松山英吉技術委員会委員長が述べられ講習会が終了しました。

